JSCA 構造パラメータ

パラメータの各フェーズでの受け渡し標準(案)

2023年3月

Ver 1.0.0	2023年3月制定 (案)として公表

はじめに

構造BIMの各パラメータについて、それぞれのデータの受け渡しをする際にどのようなフェーズで、どのパラメータが確定しているのか、あるいはどのデータを渡すべきなのかについて議論を重ね、JSCAの受け渡し標準として制定した。

フェーズについては、建築BIM推進会議の「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版)」(令和4年3月)の名称を用いている。各フェーズの定義については、「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会(第1版)」(令和3年10月)を参考にしている。JSCAでは、設計段階のフェーズについて議論を行い、S2(基本設計)、S3(実施設計1)、S4(実施設計2)の3つのフェーズについて、そのフェーズの終了時にデータを受け渡す場合に渡すべき情報、その各程度について決定した。

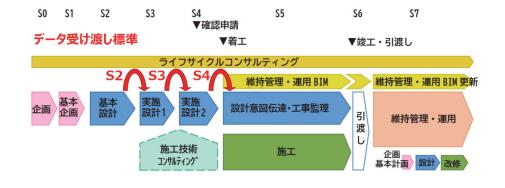
成果物としてのBIMデータを納品する場合と、異なる事業者間でBIMデータの受け渡しを行う場合には、確定が必要なデータの種別が異なるなどの議論もあったが、それらの詳細なデータの構成については本来EIRやBEPの中で定めることであると考え、そのための指針としても標準を定めることに意味があると結論し、各フェーズ終了段階での入力してあるべきデータとその確定度について定めることとした。

今後、他の団体や協会などでも議論を行っていただき、データ活用に必要なパラメータのあり方の議論が進むことを期待している。

2023年3月 日本建築構造技術者協会 技術委員会 プログラム部会 構造BIM仕様検討WG

フェーズについて

フェーズについては設計三会のガイドラインの定義とする。下図は国土交通省の「標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン」に加筆したものである。



: 事業計画 : 条件整理 : 基本的概 : 機能·性	画の検討・立≸ 里のための建築 は機能・性能の	を を計画の検討 り設定 一般図(平	面、立面、断面) の	F:確定	対済みり			
5 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 5 : 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し								
:維持管理		2013 22	Ell Dil Mixor Mixer Procontin Bri Ell Dil 17 700 Elle Mixo			S3	S4	
柱	共通情報			ID				
				GUID	-	_	_	
		配置情報	<u> </u>	名称 始端節点ID	E	E	F	
				終端節点ID	E	E	F	
				回転角	Е	Е	F	
				断面ID 構造種別	E	E F	F	断面情報のidを指定する。
				構造性が 始端側オフセット(全体座標X)	E	E	F	RC
				始端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Z)	-	Е	F	
				終端側オフセット(全体座標X)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標Y) 終端側オフセット(全体座標Z)	-	E	F	
ļ	断面情報	共通	共通	ID	1	L -		
				GUID		_		
				断面名称 所属階	E F	E	F	か は かん は
				が	F	F	F	柱脚側の所属階を記入 (COLUMNorPOST)
				断面形状の数	E	E	F	断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の切り替え位置	Е	E	F	断面数によっては複数必要
				配筋形状の数 配筋の切り替え位置	-	E D	F D	断面登録数によって異なるリストでもよい 断面数によっては複数必要
				コンクリート強度	E	E	F	四国奴によりては後女と心女
				現場打ちかPCかどうか	E	E	F	
				柱脚_定着タイプ	-	D		在来/機械式 必要な場合に記載
			鉄筋	柱脚_定着長さ(鉛直投影長さ) 柱脚_定着長さ(余長)	-	D D	D D	
				仕脚_足有長さ(赤長) 柱頭_ 定着タイプ	+ -	D	_	在来/機械式 必要な場合に記載
				柱頭_定着長さ(鉛直投影長さ)	-	D	D	
		ACT (1)		柱頭_定着長さ(余長)	-	D	D	, blue , blue , con to
		矩形柱	С	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し X幅	E	Е	F	1 断面・3断面も可能性はあり、
				 	E	E	F	
			BARその1 主筋簡易版	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し 主筋:径	-	E	F	1 断面・3断面も可能性はあり
				主筋:鉄筋強度	-	D	D	
				1段目鉄筋の重心位置(X)	-	D D		コンクリートフェイスからの距離
				1段目鉄筋の重心位置(Y) 鉄筋重心間距離(X)	-	D	D	省略可(同数値の場合)
				鉄筋重心間距離(Y)	-	D	D	省略可 (同数値の場合)
				主筋片側総本数 (X)	-	Е		方向別の片側本数
				1段に並ぶ主筋本数 (X) 主筋片側総本数 (Y)	-	E	F	
				1段に並ぶ主筋本数(Y)	-	E	F	
			BARその2	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
			主筋詳細版	主筋の総本数 主筋(1)の径	-	E	F	
				土肋(1)の住 主筋(1)の鉄筋強度	+-	D	D	
				主筋(1)の位置(部材座標系のX)	-	E	F	
				主筋(1)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
				主筋(2)の径 主筋(2)の鉄筋強度	-	E D	F D	
				主版(2)の鉄筋強度 主筋(2)の位置(部材座標系のX)	+ -	E	F	
				主筋(2)の位置(部材座標系のY)	-	Ē	F	
				・ 主筋(n)の径	-	Е	F	
				主筋(n)の鉄筋強度	-	D	D	
				主筋(n)の位置(部材座標系のX)	-	E E	F F	

¬	T, 11= 12	م ث خارج		1			
フェーズについては設計三会の		の正義とする					
S0:事業計画の検討・立案	-						
S1 : 条件整理のための建築		寸·立案		-:設			
S2 : 基本的な機能・性能の				E:検i	寸済みり	人力値	
S3 : 機能・性能に基づいた ⁻	一般図(平	面、立面、断面)	の確定	F:確定	Eデータ		
S4 : 工事を的確に行うことだ	S4 : 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成						
S5 : 設計意図伝達·工事語	S5 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成						
S6:本体工事の維持管理	6 :本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し						
S7 :維持管理·運用				S2	S3	S4	
		BARその3	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
		HOOP等	帯筋:径	T -	Е	F	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
		11001 ()	帯筋:鉄筋強度	+ -	D	D	
			帯筋: X方向本数	+-	E	F	フープ位置の指定(中子)もするべきではないか
			帯筋: Y方向本数	+ -	E	F	クラ位置の旧足(中日) じゅか でではないが
			帯筋:ピッチ	-	E	F	
		1	帯筋の工法	+ -	D	D	 普通/スパイラル/溶接閉鎖
		1		+-	D	D	日地/ 人バール/ 治汝財興
		1	中止筋:径				
		1	中止筋:鉄筋強度	-	D	D	
			中止筋:ピッチ	-	D	D	
			巾止筋:X方向本数	-	D	D	
			巾止筋:Y方向本数	-	D	D	
		BARその4	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1断面・3断面も可能性はあり
		詳細情報	帯筋本数割付ピッチ(X方向)	-	D	D	本数-2繰り返し
			帯筋本数割付ピッチ(Y方向)	-	D	D	本数-2繰り返し
			X方向補助筋の有無	_	D	D	本数 Zif来り込む
			Y方向補助筋の有無	-	D	D	
			補助筋径	+ -	D	D	
			補助筋材種	-	D	D	
			補助筋ピッチ	-	D	D	
	円形柱	С	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	+	D	U	1 断面・3断面も可能性はあり
	コカンイエ	C	住脚・住頭町画等、町画数刀繰り返し 直径	E	Е	F	1 別面・3別面の可能圧はのう
		BARその1	上世 上世 上世 上世 上世 上世 上世 上世	<u> </u>		-	1 断面・3断面も可能性はあり
		主筋	主筋:径	+-	Е	F	1 別面・3別面の可能圧はのう
		土加	主筋:鉄筋強度	+-	D	D	
				+ -	D		 コンクリートフェイスからの距離
		1	鉄筋の重心位置 主筋総本数	+-	E	D F	コンファートノエイ人がつい世上角田
		BARその3		+		Г	1 版面・2版面も可能性はもり
			<u>柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し</u>	_	F	F	1 断面・3断面も可能性はあり
		HOOP等	帯筋:径 帯筋:鉄筋強度	-	E		
		1			D	D F	
		1	帯筋:X方向本数 帯筋:X方向本数	-	E		
		1	帯筋:Y方向本数	-	E	F	
			帯筋:ピッチ	-	E		が ・ ス ノフ 川° ノニ 川 ノ ン穴 ↓ 立 日日 △ 坪
			帯筋の工法	-	D	D	普通/スパイラル/溶接閉鎖
			軸筋:径	-	E	F	
			軸筋:鉄筋強度	-	D	D	
		DADZ 0.4	軸筋:本数	-	Е	F	1 断子 2 断子+ 三 光 株 は + り
		BARその4	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	-	_	_	1 断面・3断面も可能性はあり
		詳細情報	帯筋本数割付ピッチ(X方向)	-	D	D	
		1	帯筋本数割付ピッチ(Y方向) X方向補助筋の有無	-	D	D	
		1	1 - 1 - 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-	D	D	
		1	Y方向補助筋の有無	-	D	D	
		1	補助筋径	-	D	D	
		1	補助筋材種	-	D	D	
	1	L	補助筋ピッチ	-	D	D	

: 事業計 : 条件整	ては設計三会の 十画の検討・立る を理のための建築 な機能・性能の	案 終計画の検討				定なし		
:機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定 : 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 : 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し						対済み <i>〕</i> ≅データ 集図等₹		
	宮理・運用	<u> </u>					S4	
梁	共通情報			ID				
				GUID 名称	E	Е	F	
		配置情報		始端節点ID	E	E	F	
				終端節点ID	Е	Е	F	
				回転角	E	E	F	
				断面ID 構造種別	E	E F	F	RC
				基礎か否か	F	F	F	Ke
				始端側オフセット(全体座標X)	-	Е	F	
				始端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Z) 終端側オフセット(全体座標X)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標Y)	+-	E	F	
		ļ		終端側オフセット(全体座標Z)	-	Е	F	
	断面情報	共通部材に	共通	ID	-			
		が存する		M面名称	E	Е	F	
		情報		所属階	F	F	F	
		ハンチ		梁の種別	F	F	F	(GIRDERorBEAM)
		始·中·終		片持ち梁か否か 断面形状の数	F	F E	F	断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の切り替え位置	E	E	F	断面数によっては複数必要
				配筋形状の数	-	Е	F	断面と同じであれば省略可能
				配筋の切り替え位置	-	D	D	断面と同じであれば省略可能
				ハンチ位置(始端) ハンチ位置(終端)	-	E	F	
				ハンチ形状(始端)	-	E		 スロープ、ドロップ
				ハンチ形状(終端)	-	Е	F	スロープ、ドロップ
			11.72=¥4m4±+0	コンクリート強度	Е	E	F	
			共通詳細情報 形状	ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ位置での合計ドロップ寸法(始端)	-	E	F	
			ハンチ	ハンチ端部側偏心距離X方向(始端)	-	E	F	
			始端	ハンチ端部側偏心距離Y方向(始端)	-	Е	F	
			終端	ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離Y方向(始端)	-	E E	F	
				ハンチ位直での偏心距離4万円(短端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端)	+-	E	F	
				ハンチ位置での合計ドロップ寸法(終端)	-	E	F	
				ハンチ端部側偏心距離X方向(終端)	-	Е	F	
				ハンチ端部側偏心距離Y方向(終端) ハンチ位置での偏心距離X方向(終端)	+-	E	F	
				ハンチ位置での偏心距離Y方向(終端)	+ -	E	F	
				現場打ちかPCかどうか	Е	Е	F	
			共通詳細情報	始端_上端筋カットオフ長さ	-	D		入力しない場合はデフォルトとなるように
			鉄筋	始端_下端筋カットオフ長さ 中央_上端筋カットオフ長さ	-	D D	D D	
				中央_下端筋カットオフ長さ	<u> </u>	D	D	
				終端_上端筋カットオフ長さ	-	D	D	
				終端_下端筋カットオフ長さ 始端_上端筋定着タイプ	-	D D	D D	在来/機械式
				始端_上端筋定着長さ(水平投影長さ)	+-	D	D	1上/八/ 175(175)上\
				始端_上端筋定着長さ(余長)	-	D	D	
				終端_上端筋定着タイプ	-	D	D	在来/機械式
				終端_上端筋定着長さ(水平投影長さ) 終端_上端筋定着長さ(余長)	-	D D	D D	
				ー 始端_下端筋定着タイプ	 -	D		在来/機械式
				始端_下端筋定着長さ(水平投影長さ)	-	D	D	
				始端_下端筋定着長さ(余長) 終端 下端筋定着人プ	-	D D	D D	
				終端_下端筋定着タイプ 終端_下端筋定着長さ(水平投影長さ)	+-	D	D	1工/个/ 1戏/忧工\
				終端_下端筋定着長さ(余長)	-	D	D	
				ハンチ起点位置補強あばら筋径(始端)	-	D	D	
				ハンチ起点位置補強あばら筋径(終端)	-	D	D	
				ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端)	-	D D	D D	
				ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端)	-	D	D	
				ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端)	-	D	D	
	1	1	i	ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端)	-	D	D	

フェーズについて	ては設計三会の	ガイドラインの	の定義とする					
S0 : 事業計i	画の検討・立案	ξ						
S1 : 条件整	理のための建築	計画の検討	·立案		-:設	定なし		
S2 : 基本的	な機能・性能の	設定			E:検討	対済みり	人力値	
			面、立面、断面) 🛭	確定		ミデータ	() J II	
	4:工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成						でよい	
	5:設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成						CAU	
		·連用 BIM	引渡し、別途工事	などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
S7 :維持管	理·運用				S2	S3	S4	
		矩形梁	С	断面数分繰り返し(1~3を想定)				
		断面数		幅	E	Е	F	
		繰り返し		成	E	E	F	
		が水フル盃し	BARその1	断面数分繰り返し(1~3を想定)	+-		-	
			主筋簡易版		<u> </u>	_	F	
			土肋間易似	主筋:径		Е	Г	
				主筋:鉄筋強度	-	D	D	
				1段目鉄筋の重心位置(上)	 	D	D	コンクリートフェイスからの距離
				1段目鉄筋の重心位置(工)	+-	D		当めず (同数値の場合)
				(1段日鉄筋の単心位置(下) 鉄筋重心間距離(上)	+-		D	
					_	D		少吸引(日粉はか担合)
				鉄筋重心間距離 (下)	-	D		省略可(同数値の場合)
				主筋片側総本数(上)	-	E	F	方向別の片側本数
				1段に並ぶ主筋本数(上)	-	Е	F	
				主筋片側総本数(下)	-	Е	F	
				1段に並ぶ主筋本数(下)	-	Е	F	省略可(同数値の場合)
			BARその2	断面数分繰り返し(1~3を想定)				
			主筋詳細版	主筋の総本数	-	Е	F	
				主筋(1)の径	-	Ē	F	
				主筋(1)の鉄筋強度	+-	D	D	
					+-		F	
				主筋(1)の位置(部材座標系のX)		E		
				主筋(1)の位置 (部材座標系のY)	-	E	F	
				主筋(2)の径		Е	F	
				主筋(2)の鉄筋強度	-	D	D	
				主筋(2)の位置(部材座標系のX)	-	Е	F	
				主筋(2)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
				•				
				主筋(n)の径	-	Е	F	
				主筋(n)の鉄筋強度	+-	D	D	
					_			
				主筋(n)の位置(部材座標系のX)	-	E	F	
			5.57-5	主筋(n)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
			BAR₹の3	断面数分繰り返し(1~3を想定)				
			ST等	あばら筋:径	-	Е	F	
				あばら筋:鉄筋強度	-	D	D	
				あばら筋:X方向本数	-	Е	F	
				あばら筋:Y方向本数	-	Е	F	
				あばら筋:ピッチ	-	Е	F	
				あばら筋の工法	-	D		普通/スパイラル/溶接閉鎖
				腹筋:径	+-	D	D	腹筋を定着する場合は主筋で入力
				腹筋:鉄筋強度	+-	D	D	
					_			◇ けの士粉 (畑粉)
				腹筋:本数	-	D	D	全体の本数 (偶数)
				巾止筋:径	-	D	D	
				巾止筋:鉄筋強度	-	D	D	
				中止筋:ピッチ	-	D	D	
				巾止筋:X方向本数	-	D	D	
				巾止筋:Y方向本数	-	D	D	
			BARその4	断面数分繰り返し(1~3を想定)	-	D	D	
			詳細情報	あばら筋断面割付ピッチ	-	D	D	本数-2繰り返し
			Atcheria	上端補助筋の有無	+-	D	D	1 20 -100 2020
					+-			
				下端補助筋の有無		D	D	
				補助筋径	-	D	D	
				補助筋材種	-	D	D	
I	1			補助筋ピッチ	-	D	D	

					,			
	ては設計三会の		の定義とする					
	画の検討・立る							
	理のための建築		·立案		-:設第 E:検討			
				曜定	F:確定			
	的確に行うことだ				D:基準		でよい	
	5 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成							
S6 : 本体工 S7 : 維持管		·連用 BIM	り渡し、別述工事な	どの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
					S2	S3	S4	
S柱	共通情報			ID				
				GUID				
				名称	Е	Е	F	
		配置情報		始端節点ID	Е	Е	F	
				終端節点ID	Е	Е	F	
				回転角	Е	Е	F	
				断面ID	E	E	F	
				構造種別	F	F	F	S
				始端側オフセット (全体座標X)	-	E	F	
				始端側オフセット (全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Z)	-	Е	F	
				終端側オフセット(全体座標X)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
	nice it to		1117	終端側オフセット(全体座標Z)	-	Е	F	
	断面情報	共通	共通	ID				
				GUID	_	_	_	
				断面名称	E	Е	F	120mmの数上式屋内:
				所属階	F	F		柱脚側の節点所属階
				柱の種別	F E	F E	F	柱/間柱 断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の数	E			
				断面形状の切り替え位置	-	E E	F	断面数によっては複数必要 柱脚(根巻)等も継手扱いとする。
				継手の個所数 継手位置(1)	-	E	F	住脚(依合)等も極于放じとする。 端部(柱脚側)からの距離
				松于位直(1)	-			4元の「八十の「八円」
				 継手位置(n)	-	Е	F	上 距離0で端部、柱脚や根巻も継手扱いとする。
				継手種別(1)	-	F	F	ボルト・溶接の別とし、溶接であれば省略可
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			<u>'</u>	AND PRODUCTION PROPERTY.
					-	Е	F	
				継手ID (1)	_	E	F	継手のリスト番号を記入する。
				· ·			<u>'</u>	THE SOUTH BY CHICK SO
				継手ID(n)	-	Е	F	
			共通詳細情報	端部接合条件(上)	Е	E		ピン/剛 計算対応
				端部接合条件(下)	E	E	F	ピン/剛計算対応
				柱勝ち/梁勝ち	-	D	D	配置情報となると考えられる
				防錆処理	-	D	D	特記仕様書の方で指定でよい。
				メッキの有無	-	D	D	部材単位で、データとして持たせて良い
				耐火被覆の有無	-	D	D	インスタンス情報(個別部材情報ではないか)
				耐火時間	-	D		意匠の決定する内容
				耐火被覆仕様	-	D		意匠の決定する内容
•			1	American Colors and Co				

フェーズについては設計三会のガイドラインの定義とする SO:事業計画の検討・立案 -:設定なし S1:条件整理のための建築計画の検討・立案 -:設定なし E:検討済み入力値 S2:基本的な機能・性能の設定 E:検討済み入力値 F:確定データ S4:工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 D:基準図等でよい S5:設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 S6:本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S7:維持管理・運用 断面情報 断面の 形状数分 繰り返し 1 断面・3 断面も可能性 フランジ鋼材種 ウェブ網材種 E E F H/RH/BH (H:JIS-H、RH:高さ E F F H) 高さ E F F H ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tw ウェブフィレット - E F tf ウェブフィレット - E F tf	
S1:条件整理のための建築計画の検討・立案 -:設定なし S2:基本的な機能・性能の設定 E:検討済み入力値 S3:機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定 F:確定データ C4:工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 D:基準図等でよい C5:設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 S6:本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し C7:維持管理・運用 M面情報 断面の形状数分線り返し 1 断面・3断面も可能性 アンジ鋼材種	
S2:基本的な機能・性能の設定 E:検討済み入力値 S3:機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定 F:確定データ C5:設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 D:基準図等でよい C5:被持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S2 S3 S4 S7:維持管理・運用 断面情報 断面の 形状数分 繰り返し 1 断面・3 断面も可能性 戸ンジ鋼材種 E E F F F F F F F F F F F F F F F F F	
S3:機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定 F:確定データ D:基準図等でよい S4: 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 D:基準図等でよい S5: 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 S6: 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S7: 維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S2 S3 S4 断面情報 断面の 形状数分 繰り返し クエブ鋼材種	
S4: 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 S5: 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 S6: 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S7: 維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S2 S3 S4 W面情報 断面の 形状数分 繰り返し 技力ンジ鋼材種 E E F F ウェブ鋼材種 E E F F H/RH/BH (H: JIS-H, RH: 高さ E F F B 高さ E E F F B ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tw	
S5: 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 S6: 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S7: 維持管理・運用 BIM 計画情報 断面の形状数分 繰り返し 飛り返し 操り返し 操り返し 形状タイプ	
S6:本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S2 S3 S4 断面情報 断面の 形状数分 繰り返し 形状数分 繰り返し 形状タイプ	
S6:本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し S2 S3 S4 断面情報 断面の 形状数分 繰り返し	
S7 : 維持管理・運用	
断面情報 H形鋼 柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し 1 断面・3 断面も可能性 フランジ鋼材種 E E F F F F F F F F	
断面の 形状数分 繰り返し フランジ鋼材種 E E F 一方工列網材種 E E F H/RH/BH (H: JIS-H, RH: BE) 高さ E E F H <td></td>	
形状数分 繰り返し ですゴ鋼材種 E E F 形状タイプ E E F H/RH/BH (H: JIS-H, RH: BE) 高さ E E F H 幅 E E F B ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tf	Eはあり
#D返し	
高さ E E F H 幅 E E F B ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tf	
高さ E E F H 幅 E E F B ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tf	: 外法一定、BH : ビルドH)
幅 E E F B ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tf	
ウェブ厚さ - E F tw フランジ厚さ - E F tf	
フランジ厚さ - E F tf	
717 71071	-/++ M
角形鋼管 柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し 1断面・3断面も可能性	こしょのソ
<u>断面形状記号</u> <u>E E F コラム、BOX、□等</u>	
幅	
板厚 - E F t1	
板厚2 - E F t2	
	:けあり
	10077
2/3/2/12	
断面形状記号 E E F ○	
<u>直径 </u>	
溝形鋼 柱脚·柱頭断面等、断面数分繰り返し 1 断面·3 断面も可能性	Eはあり
┃	
断面形状記号 E E F [、2[
高さ E E F H	
E F B	
ウェブ厚さ - E F t1	
フランジ厚さ - E F t2	
フランジ フィレット	
ギャップ (綴り板板厚) - E F ダブルの場合のみ	
柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	
リップ溝形鋼 1 断面・3断面も可能性	Eはあり
ダブルも含む 鋼材種 E E F	
M面形状記号 E E F C、2C C C C C C C C C C	
777 1230	
174.5	
<u>内側フレット</u> - E F r	
背合わせ - E F はい、いいえ	
ギャップ (綴り板板厚) - E F ダブルの場合のみ	
綴りボルト径 - E F	
綴りボルト本数	
綴りボルトピッチ - E F	
山形鋼 柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し 1 断面・3断面も可能性	にはあり
add	
対角ダブル 断面形状記号 E E F L、2L	
MAYJON MILITARY C C T C Z C T T	
TIM .	
7-773	
フランジ厚さ	
ウェブフィレット - E F r1	
フランジ フィレット - E F r2	
<u>対角 - E F はい、いいえ</u>	
ギャップ(綴り板板厚) - E F ダブルの場合のみ	
WO ボルト径	
綴りボルトピッチ - E F	

	会のガイドラインの定義とする					
S0 : 事業計画の検討・						
S1 : 条件整理のための	建築計画の検討・立案		-:設	定なし		
S2 : 基本的な機能・性	能の設定		E:検i	対済みえ	人力値	
S3 :機能・性能に基づ	ルた一般図 (平面、立面、断	面) の確定	F:確定	ミデータ		
S4 : 工事を的確に行う	ことが可能な設計図書の作成		D:基	集図等	でよい	
S5 : 設計意図伝達・コ	事監理、施工・本体工事の	渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成				
S6:本体工事の維持管	管理・運用 BIM 引渡し、別途	工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
S7 :維持管理·運用	:維持管理·運用					
	T形鋼	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
	ダブル	フランジ鋼材種	Е	Е	F	3,50,110
	対角ダブ		E	E	F	
	も含む	断面形状記号	E	E	F	Т
		高さ	E	E	F	H
		幅	E	E	F	В
		<u>'畑</u> ウェブ厚さ	-	E	F	tw
		フランジ厚さ フランジ厚さ	+-	E	F	ltf
		フランシ厚さ ウェブ フィレット	-	E	F	r
		リエノ フィレット ギャップ (綴り板板厚)	+-	E	F	
			+ -	E	F	
		綴りボルト径	-		F	
		綴りボルト本数	-	E		
	H+ 54 1 174	綴りボルトピッチ		Е	F	
	特殊H形			_	_	1 断面・3断面も可能性はあり
	上下で軸		E	E	F	
	板厚が乳	7 - 7 - 7 - 7 - 7	E	E	F	8.1
		形状タイプ	E	E		BH
		高さ	E	E	F	H
		幅1	E	E	F	B1
		幅2	E	Е	F	B2
		ウェブ厚さ	-	Е	F	tw
		フランジ厚さ1	-	Е	F	tf1
		フランジ厚さ2	-	Е	F	tf2
		ウェブ フィレット	-	Е	F	r
	角鋼、FB	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
		鋼材種	E	Е	F	
		断面形状記号	Е	Е	F	■、FB
		高さ	Е	Е	F	D
		幅	Е	Е	F	В
	丸鋼	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
		鋼材種	Е	Е	F	
		形状タイプ	Е	Е	F	φ
		直径	Е	Е		D
	組み合わり		İ			1 断面・3断面も可能性はあり
	2鉄骨(Е	Е	F	X、Yと正、負の情報が必要
		鉄骨2の方向	Е	Е	F	
		鉄骨1の中心オフセット(X)	-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
		鉄骨1の中心オフセット (Y)	-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
		鉄骨2の中心オフセット(X)	_	Е		0であれば、せいの中心で交わる
		鉄骨2の中心オフセット (Y)	_	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
		2断面断面形状繰り返し	-	E	F	上記リストの繰り返し
		*				
		•				
		鉄骨の中心オフセット(X)	-	Е	F	
		鉄骨の中心オフセット(Y)	+-	E	F	
		政府の下心カノビッド(1/				l .

条件整理 基本的な	画の検討・立案 里のための建築 は機能・性能の	駐計画の検)設定	討・立案 平面、立面、断面)の	降定		定なし 寸済みフ ミデータ	人力値	
□事を的 役計意図 な体工事	三事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 S体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し						でよい	
佳持管 理	里·運用				S2	S3	S4	
	共通情報			ID				
-ス				GUID				
		#7 @ k# +	-n	名称	E	E	F	
		配置情報	权	始端節点ID 終端節点ID	E	E	F	
				回転角	E	E	F	
				断面ID	E	Ē	F	
				構造種別	F	F	F	S
				基礎か否か	F	F	F	
				始端側オフセット (全体座標X)	-	Е	F	
				始端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Z) 終端側オフセット(全体座標X)	-	E	F	
				終端側オノセット(全体座標X) 終端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標Z)	+ -	E	F	
ħ	断面情報	共通	共通	ID		T -	Ė	
				GUID				
				断面名称	Е	Е	F	
				所属階	F	F	F	1 575 .1.575 11 4+ 4.575
				梁の種別 片持ち梁か否か	F	F	F	大梁·小梁·片持5梁
				断面形状の数	E	E		 断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の切り替え位置	E	E	F	断面数によっては複数必要
				ハンチ位置(始端)	-	Е	F	
				ハンチ位置(終端)	-	Е	F	
				ハンチ形状(始端)	-	Е		スロープ、ドロップ
				ハンチ形状(終端)	-	E	F	スロープ、ドロップ
				継手の個所数 継手位置(1)	-	E	F	柱脚(根巻)等も継手扱いとする。 端部(柱脚側)からの距離
					+-		I I'	MIDDY (1工のPRI) ハンシンドビ内E
				継手位置(n)	-	Е	F	距離0で端部、柱脚や根巻も継手扱いと
				継手種別(1)	-	Е	F	ボルト・溶接の別とし、溶接であれば省略で
				•				
				継手種別(n)	-	E	F	(W.T.O.U.Z.) TELESTORY
				継手ID (1)	-	Е	F	継手のリスト番号を記入する。 横補剛材の方杖も継手で記入
				· 継手ID (n)	+-	Е	F	
			共通詳細情報	端部接合条件(始端)	Е	E		ピン/剛 計算対応
			ハンチ	端部接合条件(終端)	E	E		ピン/剛 計算対応
			始端	ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端)	-	D	D	a
			終端	ハンチ位置での合計ドロップ寸法(始端)	-	D	D	b=b1+b2
				ハンチ端部側偏心距離X方向(始端)	-	E	F	ハンチ 端部
				ハンチ端部側偏心距離Y方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端)	-	E	F	 ● ■
				ハンチ位置での偏心距離X万向(始端) ハンチ位置での偏心距離Y方向(始端)	+-	E	F	a ハンチ 位置
				ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端)	-	D	D	a 位置 ▼次断面
				ハンチ位置での合計ドロップ寸法(終端)	-	D	D	b2
				ハンチ端部側偏心距離X方向(終端)	-	Е	F	
				ハンチ端部側偏心距離Y方向(終端)	-	E	F	b1
				ハンチ位置での偏心距離X方向(終端)	-	E	F	→ b1
				ハンチ位置での偏心距離Y方向(終端) 防錆処理	-	E D	F D	特記仕様書の方で指定
				メッキの有無	+-	D	D	部材単位で、データとして持たせて良い
				耐火被覆	-	D	D	インスタンス情報(個別部材情報ではない
				耐火時間	-	D	D	
				耐火被覆仕様	-	D	D	
				合成梁かどうかの指定	-	Е	F	合成梁/不完全合成梁/考慮せず
				頭付きスタッド径	-	D	D	
				頭付きスタッド列 頭付きスタッド高さ	-	D D	D D	
				頭付きスタット向き	+-	D	D	
		1		頭付きスタッドの材料	+-	D		 特記仕様書の方で指定

	計画の検討・立る							
	整理のための建築 りな機能・性能の		・立案		一:設:		山山広	
			面、立面、断面)の	確定		寸済みフ ≧データ		
	と的確に行うこと			· ·		- / / 集図等		
				本体工事の維持管理・運用 BIM 作成				
		!·運用 BIM	引渡し、別途工事だ	などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
:維持官	管理・運用		1117.60		S2	S3	S4	
		断面情報 断面の形状		断面数分繰り返し フランジ鋼材種	E	Е	F	1 断面・3断面も可能性はあり
		数分繰り返し		ウェブ鋼材種	E	E	F	
		3277487220		形状タイプ	Ē	Ē		H/RH/BH (H:JIS-H、RH:外法一定、BH:ビルド
				高さ	Е	Е	F	Н
				幅	Е	Е	F	В
				ウェブ厚さ	-	E	F	tw
				フランジ厚さ	-	E	F	tf
				ウェブ フィレット カバープレートの有無	-	E	F	r H形鋼の項目とすべき?
				カバープレートの開始位置	+-	E	F	「一方列の項目とすべる!
				カバープレートの終了位置	-	E	F	
				カバープレートの厚さ	-	Е	F	
				カバープレートの材料	-	Е	F	
			角形鋼管	断面数分繰り返し		_	_	1 断面・3断面も可能性はあり
				鋼材種 断面形状記号	E	E	F	コラム、BOX、□等
				断風形仏記号 高さ	E	E	F	H H
				幅	E	E	F	В
				板厚	-	E	F	t1
				板厚2	-	Е	F	t2
				外側フィレット	-	Е	F	r
			円形鋼管	断面数分繰り返し		_	_	1 断面・3断面も可能性はあり
				鋼材種 断面形状記号	E	E	F	0
				直径	E	E	F	D
				板厚	-	E	F	lt
			溝形鋼	断面数分繰り返し			·	1 断面・3断面も可能性はあり
			ダブルも含む	鋼材種	Е	Е	F	
				断面形状記号	Е	Е	F	[、2[
				高さ	E	E	F	H
				幅	Е	E	F	B
				ウェブ厚さ フランジ厚さ	-	E	F	t1 t2
				フランシ厚C ウェブ フィレット	+ -	E	F	r1
				フランジ フィレット	-	Ē		r2
				ギャップ (綴り板板厚)	-	Е	F	ダブルの場合のみ
				綴りボルト径	-	Е	F	
				綴りボルト本数	-	Е	F	
			11一个井工公园	綴りボルトピッチ	-	Е	F	1 W = 2 W = + コ + k + k + + k
			リップ溝形鋼 ダブルも含む	断面数分繰り返し 鋼材種	E	Е	F	1 断面・3断面も可能性はあり
			ラフルも含む	断面形状記号	E	E		C, 2C
				高さ	E	E	F	H
				幅	E	E	F	В
				リップの長さ	-	Е	F	С
				板厚	-	E	F	t
				内側フィレット 背合わせ	-	E	F	はい、いいえ
				育合わせ ギャップ (綴り板板厚)	-	E	F	ばい、いいえ ダブルの場合のみ
				(報り板板学) (報り板板学) (報りボルト径)	+-	E	F	7 2 10 V 2700 LI V 20 S
				綴りボルト本数	-	E	F	
				綴りボルトピッチ	-	Ē	F	
			山形鋼	断面数分繰り返し				1断面・3断面も可能性はあり
			ダブル	鋼材種	E	E	F	1. 21
			対角ダブル も含む	断面形状記号 高さ	E	E E	F	L, 2L A
			040	向C 幅	E	E	F	В
				ウェブ厚さ	-	E	F	t1
				フランジ厚さ	-	E	F	t2
				ウェブ フィレット	-	E	F	r1
				フランジ フィレット	-	Е	F	r2
				対角	-	E		はい、いいえ
				ギャップ(綴り板板厚)	-	E	F	ダブルの場合のみ
				綴りボルト径 綴りボルト本数	-	E	F	
	1		Ī	in双ソハハル トペト女X	-	Е	F	

フェーズについては設計三会のガイドラインの定義とする 50:事業計画の検討・立案 -:設定なし S1:条件整理のための建築計画の検討・立案 -:設定なし S2:基本的な機能・性能の設定 E:検討済み入力値	
S1 : 条件整理のための建築計画の検討・立案 -: 設定なし	
【S2 : 基本的な機能・性能の設定 F:検討済み入力値 L	
S3:機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定 F:確定データ	
S4 : 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 D: 基準図等でよい	
S5 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成	
S6 : 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し	
S7 : 維持管理·運用	
T形鋼 断面数分繰り返し 1 断面・3 断面も可能	性はあり
フランジ鋼材種 EIEIF	
ウェブ鋼材種 EIEIF	
断面形状記号 E E F T、2T	
高さ E E F H	
E E F B	
ウェブ厚さ - E F tw	
フランジ厚さ - E F tf	
ウェブフィレット - E F r	
ギャップ (綴り板板厚) - E F ダブルの場合のみ	
綴りボルト径 - E F	
綴りボルト本数	
綴りボルトピッチ - E F	
特殊H形鋼 断面数分繰り返し 1 断面・3 断面も可能	性はあり
フランジ鋼材種 E E F	
ウェブ鋼材種 E E F	
形状タイプ E E F H/SH/BH	
高さ E E F H	
幅1 E E F B	
幅2 E F	
ウェブ厚さ - E F tw	
フランジ厚さ1 - E F ltf1	
フランジ厚さ2 - E F ltf2	
ウェブ フィレット - E F r	
角鋼、FB 断面数分繰り返し 1 断面・3 断面も可能	性はあり
鋼材種 EEF	
形状タイプ E E F ■、FB	
幅 E E F B	
板厚 E E F t	
丸鋼 断面数分繰り返し 1 断面・3 断面も可能	性はあり
鋼材種	
形状タイプ E E F φ	
直径 E F D	

	ては設計三会の		D定義とする					
	画の検討・立象							
S1 : 条件點	を 理のための 建築	計画の検討	·立案		-:設	定なし		
S2 : 基本的	ηな機能・性能σ	設定			E:検討	済みえ	人力値	
S3 :機能・	性能に基づいた	一般図(平	面、立面、断面)の	F:確定	データ			
S4 : 工事を	64 : 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成							
S5 : 設計意	類図伝達・工事!	監理、施工・ス	本体工事の引渡し、	本体工事の維持管理・運用 BIM 作成				
S6 : 本体コ	事の維持管理	・運用 BIM	引渡し、別途工事な	どの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
S7 : 維持管	理・運用				S2	S3	S4	
CFT柱	共通情報			IID	52	55	J-T	
CITIE	大地IHTX			GUID				
				名称	Е	Е	F	
		配置情報		始端節点ID	E	E	F	
		出し国刊報		終端節点ID	E	E	F	
				回転角	E	E	F	
				断面ID	E	E	F	
				構造種別	F	F	F	S
							F	5
				始端側オフセット(全体座標X)	-	E		
				始端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Z)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標X)	-	Е	F	
				終端側オフセット(全体座標Y)	-	Е	F	
	100 1- 1-	1172	1112	終端側オフセット(全体座標Z)	-	Е	F	
	断面情報	共通	共通	ID	_			
				GUID				
				断面名称	E	Е	F	
				所属階	F	F		柱脚側の節点所属階
				柱の種別	F	F	F	柱/間柱
				断面形状の数	Е	Е	F	断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の切り替え位置	E	Е	F	断面数によっては複数必要
				継手の個所数	-	Е	F	柱脚(根巻)等も継手扱いとする。
				継手位置(1)	-	Е	F	端部(柱脚側)からの距離
				•				
				継手位置(n)	-	Е	F	距離0で端部、柱脚や根巻も継手扱いとする。
				継手種別(1)	-	Е	F	ボルト・溶接の別とし、溶接であれば省略可
				•				
				継手種別(n)	-	Е	F	
				継手ID(1)	-	Е	F	継手のリスト番号を記入する。
				•				
				継手ID (n)	-	Е	F	
				コンクリート強度	Е	Е	F	
			共通詳細情報	端部接合条件(上)	Е	Е		ピン/剛 計算対応
			1	端部接合条件(下)	Е	Е	F	ピン/剛 計算対応
			1	柱勝ち/梁勝ち	-	D	D	配置情報か
			1	防錆処理	-	D	D	特記仕様書の方で指定
			1	メッキの有無	-	D	D	部材単位で、データとして持たせて良い
			1	耐火被覆の有無	-	D		インスタンス情報(個別部材情報ではないか)
			1	耐火時間	-	D	D	意匠の決定する内容
			<u> </u>	耐火被覆仕様	-	D	D	意匠の決定する内容
		断面情報	角形鋼管	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
		断面の形状	1	鋼材種	Е	Е	F	
		数分繰り返し	1	断面形状記号	Е	Е	F	コラム、BOX、□等
			1	高さ	Е	Е	F	Н
			1	幅	Е	Е	F	В
			1	板厚	-	Е	F	t1
			1	板厚2	-	E	F	t2
			1	外側フィレット	-	Ē	F	r
			円形鋼管	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
				鋼材種	Е	Е	F	
			1	断面形状記号	E	E	F	0
			1	直径	E	Ē	F	D
			1	板厚	-	E	F	t
		i .	1	I KAN A		_		15

					1			T
	ては設計三会の		の定義とする					
	画の検討・立案	-						
	理のための建築		・立案		-:設			
S2 : 基本的						対済み フ	人力値	
S3 :機能·性	生能に基づいた	一般図(平	面、立面、断面)の	在定	F:確定	データ		
S4 : 工事を	的確に行うことだ	が可能な設計	図書の作成		D:基準	医	でよい	
S5 : 設計意	図伝達・工事	監理、施工・	本体工事の引渡し、	本体工事の維持管理・運用 BIM 作成				
S6:本体工	5 : 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し							
S7 :維持管	理·運用				S2	S3	S4	
SRC柱	共通情報			ID	- 02		<u> </u>	
SINGIE	/ (AE1154)			GUID				
				名称	Е	Е	F	
		配置情報		始端節点ID	E	E	F	
		HULL IHTX		終端節点ID	E	E	F	
				一覧点	_		F	
					E	E		
				断面ID	E	E	F	C
				構造種別	E	F	F	S
				始端側オフセット(全体座標X)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット(全体座標Z)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標X)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標Y)	-	Е	F	
				終端側オフセット(全体座標Z)	-	Е	F	
	断面情報	共通	共通	ID				
				GUID				
				断面名称	Е	Е	F	
				所属階	F	F	F	柱脚側の節点所属階
				柱の種別	F	F	F	柱/間柱
				断面形状の数	Е	Е	F	断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の切り替え位置	Е	Е	F	断面数によっては複数必要
				配筋形状の数	-	Е	F	断面登録数によって異なるリストでもよい
				配筋の切り替え位置	-	D	D	断面数によっては複数必要
				継手の個所数	-	Е	F	柱脚(根巻)等も継手扱いとする。
				継手位置(1)	-	Е	F	端部(柱脚側)からの距離
				•				- How Carrier May 10
				継手位置(n)	-	Е	F	距離0で端部、柱脚や根巻も継手扱いとする。
				継手種別(1)	-	E	F	ボルト・溶接の別とし、溶接であれば省略可
				•				
				継手種別(n)	-	Е	F	
				継手ID (1)	_	Ē		継手のリスト番号を記入する。
				•		_	•	ALL SOME DEBOTO
				継手ID (n)	-	Е	F	
				コンクリート強度	Е	Ē	F	
				コンクリート強度	E	Ē		ある場合
			共涌詳細情報コンクリート	現場打ちかPCかどうか	E	E	F	W
			共通詳細情報	柱脚 定着タイプ	-	D	D	
			然随叶相间	性脚 左右1917 柱脚 定着長さ(鉛直投影長さ)	+-	D	D	エハバルがた 心女は勿口に心野
			以以以	住脚_足有技(知道投影技() 柱脚_ 定着長() 余長)	+-	D	D	
					+-			
				柱頭_定着タイプ	-	D		在来/機械式 必要な場合に記載
				柱頭_定着長さ(鉛直投影長さ)	_	D	D	
			11,2=4,0m/r=+0	柱頭_定着長さ(余長)	-	D	D	12、 /回川 三上空与十十六
			共通詳細情報	端部接合条件(上)	E	E		ピン/剛 計算対応
			鉄骨	端部接合条件(下)	Е	Е		ピン/剛 計算対応
1	1	1		柱勝ち/梁勝ち	-	D	D	配置情報か

コー ブについては記録	↓ □ ♠ゕギノパ= ハ /	か完美レオス		_			
フェーズについては設計 S0 : 事業計画の検		り正我と9つ					
S1 : 条件整理のため		∤ • ☆ 家	-:設	定力()。			
S1 : 朱竹虚煌のだ。 S2 : 基本的な機能		1 <u>1</u>		たるし 寸済 <i>みフ</i>	ナ値		
		面、立面、断面)(ミデータ			
	3 :機能・性能に基づいた一般図(平面、立面、断面)の確定 4 : 工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 5 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 6 : 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し						
S7 : 維持管理·運用		3		S2	S3	S4	
	コンクリート部	IC	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	- 52	- 55	J-	1 断面・3断面も可能性はあり、柱梁接合部も記入してよい。
	矩形柱		X幅	Е	Е	F	根巻、柱脚等もこちらで記載
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			ΤĒ	E	F	一般さればからこうりで記載
		BARその1	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	+-	-	<u>'</u>	1 断面・3断面も可能性はあり
		主筋簡易版	主筋:径	_	Е	F	THE CHIEF THE THE
		工加加回200/10	主筋:鉄筋強度	_	D	D	
			1段目鉄筋の重心位置 (X)	_	D	D	コンクリートフェイスからの距離
			1段目鉄筋の重心位置 (Y)	_	D	D	省略可 (同数値の場合)
			鉄筋重心間距離 (X)	-	D	D	
			鉄筋重心間距離 (Y)	-	D		省略可(同数値の場合)
			主筋片側総本数 (X)	-	Е	F	方向別の片側本数
			1段に並ぶ主筋本数 (X)	-	Е	F	
			主筋片側総本数(Y)	-	Е	F	
			1段に並ぶ主筋本数 (Y)	-	Е	F	
		BARその2	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	-			1 断面・3断面も可能性はあり
		主筋詳細版	主筋の総本数	-	Е	F	
			主筋(1)の径	-	Е	F	
			主筋(1)の鉄筋強度	-	D	D	
			主筋(1)の位置(部材座標系のX)	-	Е	F	
			主筋(1)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
			主筋(2)の径	-	Е	F	
			主筋(2)の鉄筋強度	-	D	D	
			主筋(2)の位置(部材座標系のX)	-	Е	F	
			主筋(2)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
			•	-			
			•	-			
			主筋(n)の径	-	Е	F	
			主筋(n)の鉄筋強度	-	D	D	
			主筋(n)の位置(部材座標系のX)	-	Е	F	
			主筋(n)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
		BARその3	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	-	\vdash	-	 1 断面・3断面も可能性はあり
		HOOP等	#筋:径	+-	Е	F	1 単一面 つか一面 いっぱ はいかい
			帯筋:鉄筋強度	-	D	D	
			带筋:X方向本数	-	E	F	フープ位置の指定(中子)もするべきではないか
			帯筋:Y方向本数	-	Ē	F	
			帯筋:ピッチ	-	E	F	
			帯筋の工法	-	D		普通/スパイラル/溶接閉鎖
			中止筋:径	-	D	D	
			中止筋:鉄筋強度	-	D	D	
			中止筋:ピッチ	-	D	D	
			巾止筋:X方向本数	-	D	D	
			巾止筋:Y方向本数	-	D	D	
		BARその4	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	-			1断面・3断面も可能性はあり
		詳細情報	帯筋本数割付ピッチ(X方向)	-	D	D	本数-2繰り返し
			帯筋本数割付ピッチ(Y方向)	-	D	D	本数-2繰り返し
			X方向補助筋の有無	-	D	D	
			Y方向補助筋の有無	-	D	D	
			補助筋径	-	D	D	
			補助筋材種	-	D	D	
			補助筋ピッチ	-	D	D	
•		•	t-				•

	フェーズについては設計三会のガイドラインの定義とする							
	SO : 事業計画の検討・立案							
	S1 :条件整理のための建築計画の検討・立案							
S2 : 基本的	な機能・性能の	D設定			E:検討	対済み り	、力値	
S3 :機能・性	生能に基づいた	一般図(平i	面、立面、断面)の	確定	F:確定	データ		
S4 : 工事を	的確に行うことが	が可能な設計	図書の作成		D:基图	図等	でよい	
S5 : 設計意	図伝達・工事!	監理、施工・	本体工事の引渡し、	本体工事の維持管理・運用 BIM 作成				
S6 : 本体工	事の維持管理	・運用 BIM	引渡し、別途工事な	どの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
S7 :維持管	理·運用				S2	S3	S4	
	コンクリート部 C 柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				32	33	J ⁺	1 断面・3断面も可能性はあり
		円形柱	C	在脚・在頭側囲等、側面数力繰り返し 直径	Е	Е	F	1 岡田・3町田0円配生はめり
		口形住	BARその1	直住 柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し			Г	1 断面・3断面も可能性はあり
			主筋	主筋:径	+	Е	F	1 別国・3別国で円形注はのグ
			土肋		+-			
		1		主筋:鉄筋強度	-	D	D	
				鉄筋の重心位置	-	D	D	コンクリートフェイスからの距離
			5.157.00	主筋総本数	-	Е	F	, NCT 0 NCT + TAY 11 1 + 10
			BAR₹Ø3	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	-			1 断面・3断面も可能性はあり
			HOOP等	帯筋:径	-	Е	F	
				帯筋:鉄筋強度	-	D	D	
				帯筋: X方向本数	-	Е	F	
				帯筋:Y方向本数	-	Е	F	
				帯筋: ピッチ	-	Е	F	
				帯筋の工法	-	D	D	普通/スパイラル/溶接閉鎖
				軸筋:径	-	Е	F	
				軸筋:鉄筋強度	-	D	D	
				軸筋:本数	-	ш	F	
			BARその4	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	-			1 断面・3断面も可能性はあり
			詳細情報	帯筋本数割付ピッチ(X方向)	-	D	D	
				帯筋本数割付ピッチ(Y方向)	-	D	D	
I				X方向補助筋の有無	-	D	D	
I				Y方向補助筋の有無	-	D	D	
I				補助筋径	-	D	D	
				補助筋材種	-	D	D	
I				補助筋ピッチ	-	D	D	
1	I		l	110-73103-77	1		_	

フェーズについては設計三会のガイ	イドラインの	定義とする					
S0:事業計画の検討・立案				1			
S1 : 条件整理のための建築計		・立案	-:設	定なし			
S2 : 基本的な機能・性能の設定			E:検討	す済み2	く力値		
S3 :機能・性能に基づいた一般			F:確定	データ			
S4 : 工事を的確に行うことが可信	4 :工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成 5 :設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 5 :本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し						
S6 : 本体工事の維持管理・運							
S7 :維持管理·運用				S2	S3	S4	
鉄	骨部	H形鋼	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し				1 断面・3断面も可能性はあり
	面情報		フランジ鋼材種	Е	Е	F	
	面の形状		ウェブ鋼材種	E	E	F	
	分繰り返し		形状タイプ	E	E	F	H/RH/BH (H: JIS-H、RH: 外法一定、BH:ビルドH)
			高さ	Е	Е	F	Н
			幅	E	E	F	В
			ウェブ厚さ	T -	E	F	tw
			フランジ厚さ	-	E	F	tf
			ウェブ フィレット	-	Е	F	r
			鉄骨の中心オフセット (X)	-	Ē	F	0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット(Y)	-	Ē	F	0であれば、せいの中心で交わる
	ŀ	角形鋼管	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し			Ė	1断面・3断面も可能性はあり
			鋼材種	Е	Е	F	10010000
			断面形状記号	E	E	F	コラム、BOX、□等
			高さ	E	E	F	H
			幅	E	Ē	F	В
	Ī		板厚	+-	Ē	F	t1
			板厚2	T -	Ē	F	t2
			外側フィレット	+-	Ē	F	r
			鉄骨の中心オフセット (X)	+-	Ē	F	0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット(Y)	-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
			内部コンクリートの有無	Е	E	F	0 (0) 118. (200) 416 (201)
		円形鋼管	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	+-		<u>'</u>	1 断面・3断面も可能性はあり
		1 17亿到19 巨	鋼材種	Е	Е	F	1 別面 3別面の引起圧体のグ
			断面形状記号	E	E	F	0
			直径	E	E	F	D
			板厚	-	E	F	lt
			鉄骨の中心オフセット(X)	+-	E	F	し 0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット(Y)	+ -	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
			内部コンクリートの有無	E	E	F	
	ŀ	T形鋼	柱脚・柱頭断面等、断面数分繰り返し	<u> </u>			1 断面・3断面も可能性はあり
		1 //ン到明	フランジ鋼材種	Е	Е	F	1 例面・3例面も可能圧はめり
			ウェブ鋼材種	E	E	F	
			断面形状記号	E	E	F	T
			高さ	E	E	F	
			同C 幅	E	E	F	В
			恒 ウェブ厚さ	-	E	F	tw
			フランジ厚さ	+-	E		tf
			ウェブ フィレット	+-	E		r
			ウェフ フィレット 鉄骨の中心オフセット(X)	+-	E	F	r 0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット(Y)	+-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
	ŀ	組み合わせ		+-			1 断面・3断面も可能性はあり
		祖の古りは 2鉄骨(当面)	供脚・任頭断囲寺、断囲数万繰り返し 鉄骨1の方向	Е	Е	F	X、Yと正、負の情報が必要
		∠ッ◇日(田)	鉄骨2の方向	E	E	F	ハ、IC正、只の旧和が少女
			鉄骨1の中心オフセット(X)	-	E	F	 0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨1の中心オフセット(X) 鉄骨1の中心オフセット(Y)	+-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨1の中心オフセット(Y) 鉄骨2の中心オフセット(X)	+-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
				+-			0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨2の中心オフセット (Y)	+-	E	F	U であれば、せいの中心で交わる 上記リストの繰り返し
			2断面断面形状繰り返し	+-		<u> </u>	上記リ人トの探り返し
			•	1		<u> </u>	<u> </u>
			・	1	_	 -	
			鉄骨の中心オフセット(X)	-	E		0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット(Y)	-	Е	F	0であれば、せいの中心で交わる

フェーズについ	ては設計三会の)ガイドライン(の定義とする					
S0 : 事業計	SO : 事業計画の検討・立案							
S1 : 条件整	理のための建築	き計画の検討	・・立案	-:設	定なし			
S2 : 基本的	S2 : 基本的な機能・性能の設定							
S3 : 機能・1	生能に基づいた	一般図(平	面、立面、断面)の	確定	F:確定	ミデータ		
S4 : 工事を	的確に行うことが	が可能な設計	†図書の作成			集図等	でよい	
				本体工事の維持管理・運用 RIM 作成	3.1			
	55 : 設計意図伝達・工事監理、施工・本体工事の引渡し、本体工事の維持管理・運用 BIM 作成 66 : 本体工事の維持管理・運用 BIM 引渡し、別途工事などの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し							
	7 :維持管理・運用							
				les.		S3	S4	
SRC柱	共通情報			ID	-			
				GUID				
				名称	Е	Е	F	
		配置情報		始端節点ID	Е	Е	F	
				終端節点ID	E	Е	F	
				回転角	Е	Е	F	
1				断面ID	Е	Е	F	
1				構造種別	Е	F	F	S
1				基礎か否か	F	F	F	
1				始端側オフセット (全体座標X)	-	Е	F	
1				始端側オフセット (全体座標Y)	-	E	F	
				始端側オフセット (全体座標Z)	-	E	F	
				終端側オフセット(全体座標X)	-	Ē	F	
				終端側オフセット(全体座標Y)	-	Ē	F	
				終端側オフセット(全体座標Z)	+ -	F	F	
	断面情報	共通	共通	ID	_		-	
	四田田東	六	六	GUID				
					-	-	_	
				断面名称	E	E	F	
				所属階	F	F	F	1 075 11 075 11 14 4 075
				梁の種別	F	F		大梁・小梁・片持ち梁
				片持ち梁か否か	F	F	F	
				断面形状の数	Е	Е	F	断面登録数によって異なるリストでもよい
				断面形状の切り替え位置	Е	Е	F	断面数によっては複数必要
				配筋形状の数	-	Е	F	断面と同じであれば省略可能
				配筋の切り替え位置	-	D	D	断面と同じであれば省略可能
				ハンチ位置コンクリート(始端)	-	Е	F	
1				ハンチ位置コンクリート(終端)	-	Е	F	
1				ハンチ形状コンクリート(始端)	-	Е	F	スロープ、ドロップ
1				ハンチ形状コンクリート(終端)	-	Е	F	スロープ、ドロップ
1				ハンチ位置鉄骨(始端)	-	E	F	
1				ハンチ位置鉄骨(終端)	-	E	F	
				ハンチ形状鉄骨(始端)	-	E		スロープ、ドロップ
				ハンチ形状鉄骨(終端)	-	E		スロープ、ドロップ
1				継手の個所数	+ -	E		柱脚(根巻)等も継手扱いとする。
				継手位置(1)	-	E		
1				が出して (T)	┿			4111ロド (「T工がには) ハンマンルビ内E
				(4)	-	L -	_	<u>に対して治力、 けまれる 男子を終すれる ナス</u>
1				継手位置(n)		E		距離0で端部、柱脚や根巻も継手扱いとする。
				継手種別(1)	-	Е	F	ボルト・溶接の別とし、溶接であれば省略可
				· ·				
				継手種別(n)	-	Е	F	
				継手ID(1)	-	Е	F	継手のリスト番号を記入する。
				•				横補剛材の方杖も継手で記入
				継手ID(n)	-	Е	F	
				コンクリート強度	Е	Е	F	
-	•	•						

	バニク.の完美レオス		$\overline{}$			T
フェーズについては設計三会のガイ S0:事業計画の検討・立案	P717の足我C9つ					
50 . 事業計画の検討・立業 S1 : 条件整理のための建築計画	画の検討・立案		-:設定	定かし、		
S2 : 基本的な機能・性能の設定		E:検討済み入力値				
S3 : 機能・性能に基づいた一般		F:確定データ				
S4 : 工事を的確に行うことが可能		D:基準		"よい		
S5 : 設計意図伝達·工事監理		D.坐+四号 (&v.				
		どの維持管理・運用 BIM データの整備・引渡し				
S7 :維持管理·運用			S2	S3	S4	
	共通詳細情報	ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端)	-	E	F	
	コンクリート	ハンチ位置での合計ドロップ寸法(始端)	-	E	F	
	ハンチ	ハンチ端部側偏心距離X方向(始端)	-	E	F	
	対端 対端	ハンチ端部側偏心距離Y方向(始端)	+ -	E	F	
	終端	ハンチ位置での偏心距離X方向(始端)	 	E	F	
	11-5-110	ハンチ位置での偏心距離Y方向(始端)	T -	E	F	
		ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端)	-	E	F	
		ハンチ位置での合計ドロップ寸法(終端)	-	Е	F	
		ハンチ端部側偏心距離X方向(終端)	-	Е	F	
		ハンチ端部側偏心距離Y方向(終端)	-	Е	F	
		ハンチ位置での偏心距離X方向(終端)	-	Е	F	
		ハンチ位置での偏心距離Y方向(終端)	-	Е	F	
		現場打ちかPCかどうか	Е	Е	F	
	共通詳細情報	始端_上端筋カットオフ長さ	-	D	D	入力しない場合はデフォルトとなるように
	鉄筋	始端_下端筋カットオフ長さ	-	D	D	
		中央_上端筋カットオフ長さ	-	D	D	
		中央_下端筋カットオフ長さ	-	D	D	
		終端_上端筋カットオフ長さ	-	D	D	
		終端_下端筋カットオフ長さ	-	D	D	
		始端_上端筋定着タイプ	-	D	D	在来/機械式/溶接
		始端_上端筋定着長さ(水平投影長さ)	-	D	D	
		始端_上端筋定着長さ(余長)	-	D	D	
		終端_上端筋定着タイプ	-	D	D	在来/機械式/溶接
		終端_上端筋定着長さ(水平投影長さ)	-	D	D	
		終端_上端筋定着長さ(余長)	-	D	D	
		始端_下端筋定着タイプ	-	D	D	在来/機械式/溶接
		始端_下端筋定着長さ(水平投影長さ)	-	D	D	
		始端_下端筋定着長さ(余長)	-	D	D	
		終端_下端筋定着タイプ	-	D		在来/機械式/溶接
		終端_下端筋定着長さ(水平投影長さ)	-	D	D	
		終端_下端筋定着長さ(余長)	-	D	D	
		ハンチ起点位置補強あばら筋径(始端)	-	D	D	両方必要か?
		ハンチ起点位置補強あばら筋径(終端)			_	İ
	i		-	О	D	
		ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端)	-	D D	D D	
			++			
		ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端)	-	D	D	
		ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端)	-	D D	D D	
		ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端)	- - - -	D D D D	D D D	
		ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端)			D D D D D	
	共通詳細情報	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端)	- - - - - E	D D D D E	D D D D F	ピン/剛 計算対応
	鉄骨	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端)	- - - - - - E	D D D D E E	D D D D F F	ピン/剛 計算対応
	鉄骨 ハンチ	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋を数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端)	- - - - - E E	D D D D E E D	D D D D F F D	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋をット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋をット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(始端) パンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ位置での合計ドロップ寸法(始端)	- - - - - E E	D D D D E E D D	D D D D F F D D	
	鉄骨 ハンチ	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ値部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ位置での合計ドロップ寸法(始端)	- - - - - - E E	D D D D E E D D E	D D D D T D T D T T T T T T T T T T T T	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) ボ部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端)	- - - - - - E E	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	D D D D F F D D F F F F	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) バンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側編心距離X方向(始端) ハンチ端部側編心距離X方向(始端)	- - - - - - E E	D D D D E E E E	D D D D D F F F F F F	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D E E E E E	D D D D D F F F F F F F F	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) ボ部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	D D D D F F F D D F F F D D T F F D D T T T T	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) バンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側編心距離X方向(始端) ハンチ端部側編心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D E E E E D D D	D D D D F F D D F F D D D D D D D D D D	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋セット数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側編心距離X方向(始端) ハンチ端部側編心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D E E E D D D E E E E E E E E E E E	D D D D F F F D D F F F F F F F F F F F	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(始端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ端での偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) バンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) ボ部接合条件(始端) バンチは部側垂直範囲長さ(始端) ハンチば部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチば置での偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側垂直範囲長き(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(始端) ハンチ値置での合計ドロップ寸法(始端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ位置での偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側種直範囲長さ(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D D E E E E D D D E E E E E E E E E	D D D D D F F F D D F F F F F F F F F F	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(始端) ハンチ値部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側腫直範囲長さ(終端) ハンチ端部側腫直範囲長さ(終端) ハンチ端部側腫直範囲長さ(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチばでの偏心距離X方向(終端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D D E E E E D D E E E E E D D D E E E E E D	D D D D F F F D D F F F F F D D D F F F F D	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) ボ部接合条件(始端) 端部接合条件(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端での偏心距離X方向(終端) ハンチ位置での偏心距離X方向(終端) ハンチ位置での偏心距離X方向(終端) ハンチ位置での偏心距離X方向(終端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	D D D D D F F D D F F F F D D F F F D	
	鉄骨 ハンチ 始端	ハンチ起点位置補強あばら筋材種(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋材種(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋本数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を数(終端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(始端) ハンチ起点位置補強あばら筋を少ト数(終端) 端部接合条件(始端) 端部接合条件(始端) ハンチ値部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側垂直範囲長さ(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側偏心距離X方向(始端) ハンチ端部側腫直範囲長さ(終端) ハンチ端部側腫直範囲長さ(終端) ハンチ端部側腫直範囲長さ(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチ端部側偏心距離X方向(終端) ハンチばでの偏心距離X方向(終端)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D D D D E E E E D D E E E E E D D D E E E E E D	D D D D F F F D D F F F F F D D D F F F F D	

_							_
フェーズについては設計三会		の定義とする					
S0 : 事業計画の検討・立							
S1 :条件整理のための建		ナ・立案		一:設	定なし		
S2 : 基本的な機能・性能	の設定			E:検討	寸済みフ	人力値	
S3 : 機能・性能に基づいた	一般図(平	面、立面、断面)(の確定	F:確定	Eデータ		
S4 : 工事を的確に行うこと	・ 1、						
S7 :維持管理·運用	E·连用 DIM	71/皮し、別処工争	なこの心は守官達・建州 DIM ノーラの主流・引渡し			l	
37 . 祇村吕庄, 连用				S2	S3	S4	
	矩形梁	С	断面数分繰り返し(1~3を想定)				内端・外端、指定端などの情報を持たせる場合、指定端部情報を持たせる必要がある。符号を変える手法でもよい。
	断面数		幅	E	Е	F	
	繰り返し	,	成	Е	Е	F	
		BARその1	断面数分繰り返し(1~3を想定)				
		主筋簡易版	主筋:径	-	Е	F	
		工加加到初加入	主筋:鉄筋強度	-	D	D	
			1段目鉄筋の重心位置(上)	-	D	D	コンクリートフェイスからの距離
				_			
			1段目鉄筋の重心位置(下)	-	D	D	省略可(同数値の場合)
			鉄筋重心間距離 (上)		D	D	
			鉄筋重心間距離 (下)	-	D		省略可(同数値の場合)
			主筋片側総本数(上)	-	Е	F	方向別の片側本数
			1段に並ぶ主筋本数(上)	-	Е	F	
			主筋片側総本数 (下)	-	Е	F	
			1段に並ぶ主筋本数(下)	-	Е	F	省略可(同数値の場合)
		BARその2	断面数分繰り返し(1~3を想定)				
		主筋詳細版	主筋の総本数	-	Е	F	
			主筋(1)の径	-	Е	F	
			主筋(1)の鉄筋強度	-	D	D	
			主筋(1)の位置(部材座標系のX)	-	E	F	
				 -	E	F	
			主筋(1)の位置(部材座標系のY)	_			
			主筋(2)の径	-	E	F	
			主筋(2)の鉄筋強度	-	D	D	
			主筋(2)の位置(部材座標系のX)	-	Е	F	
			主筋(2)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
			•				
			•				
			主筋(n)の径	-	Ε	F	
			主筋(n)の鉄筋強度	-	D	D	
			主筋(n)の位置(部材座標系のX)	-	Е	F	
			主筋(n)の位置(部材座標系のY)	-	Е	F	
		BARその3	断面数分繰り返し(1~3を想定)				
		ST等	あばら筋:径	-	Е	F	
		J 1 47	あばら筋:鉄筋強度	+ -	D	D	
				+-		F	 フープ位置の指定(中子)もするべきではないか
			あばら筋:X方向本数		E		ノーノ1⊻世の拍圧(中丁)も9るへきにはない』
			あばら筋:Y方向本数		E	F	
			あばら筋:ピッチ	-	E	F	
			あばら筋の工法	-	D		普通/スパイラル/溶接閉鎖
			腹筋:径	-	D	D	腹筋を定着する場合は主筋で入力
			腹筋:鉄筋強度	-	D	D	
			腹筋:本数	-	D	D	全体の本数(偶数)
			巾止筋:径	-	D	D	
			巾止筋:鉄筋強度	-	D	D	
			中止筋:ピッチ	-	D	D	
			巾止筋:X方向本数	-	D	D	
			巾止筋:Y方向本数 巾止筋:Y方向本数	+ -	D	D	
	1	DADZA4		+-			
		BARその4	断面数分繰り返し(1~3を想定)	_	D	D	一大数 24号の下
		詳細情報	あばら筋断面割付ピッチ	-	D	D	本数-2繰り返し
							1
			上端補助筋の有無	-	D	D	
			下端補助筋の有無	-	D	D	
			下端補助筋の有無 補助筋径	_		D D	
			下端補助筋の有無	-	D	D	

	A = 18 /18 = /2			_			
フェーズについては設計三)正義とする					
SO : 事業計画の検討・立案							
	S1:条件整理のための建築計画の検討・立案						
S2 : 基本的な機能・性				E:検討 F:確定		人力値	
S4 : 工事を的確に行う				D:基图		でよい	
S5 : 設計意図伝達・エ							
S6 : 本体工事の維持管	管理・運用 BIM	引渡し、別途工事な					
S7 :維持管理·運用	S7 :維持管理·運用						
	断面情報 H形鋼 始端・中央・終端断面等、断面数分繰り返						1 断面・3断面も可能性はあり
	断面の形状		フランジ鋼材種	Е	Е	F	
	数分繰り返し		ウェブ鋼材種	E	E	F	
			形状タイプ	Е	Е	F	H/RH/BH (H: JIS-H、RH: 外法一定、BH:ビルドH)
			高さ	E	E	F	Н
			幅	E	E	F	В
			ウェブ厚さ	-	E	F	tw
			フランジ厚さ	-	E	F	tf
			ウェブ フィレット	-	E	F	r
			鉄骨の中心オフセット(X)	-	Ē	_	0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット (Y)	-	E	F	0であれば、せいの中心で交わる
			カバープレートの有無	-	E	F	o costator co is the costs
			カバープレートの開始位置	-	E	F	
			カバープレートの終了位置	-	Ē	F	
			カバープレートの厚さ	-	E	F	
			カバープレートの材料	-	F	F	
		溝形綱	始端・中央・終端断面等、断面数分繰り返		_	•	1 断面・3断面も可能性はあり
		ダブルも含む	鋼材種	Е	Е	F	THIM SHIMS THORESON
		7777000	断面形状記号	E	Ē	F	[、2[
			高さ	E	Ē		H
			幅	E	E		В
			ウェブ厚さ	-	E	F	t1
			フランジ厚さ	-	E	F	t2
			ウェブフィレット	_	E	F	r1
			フランジ フィレット	_	E	F	r2
			ギャップ(綴り板板厚)	_	E	F	ダブルの場合のみ
			綴りボルト径	_	E	F	7 7 10 × 2-30 11 × 20 0 1
			綴りボルト本数	-	Ē	F	
			綴りボルトピッチ	_	E	F	
			鉄骨の中心オフセット(X)	-	E		0であれば、せいの中心で交わる
			鉄骨の中心オフセット(Y)	-	F		0であれば、せいの中心で交わる
			外月の下心オノビッド(1)				してもという。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、